
性と生殖 I

井筒 一彦 教授*

八木 重孝 講師*

2 年次前期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目的】

本科目は、「産科婦人科学」の内容のうち母性看護実習や看護師・保健師・助産師に必要な基礎的医学知識に関し、妊娠を扱う「産科」、女性生殖器の疾患を中心に扱う「婦人科」に分けて医学部教員が講義を行います。看護を行う上で、患者さんが病気のために性機能の一部または全部を失った時に疾患に対するケアのみでは無く、ライフステージに応じた「セクシュアリティ」の支援が必要になるケースがあり、「性と生殖」に関する正しい知識を持つことが看護師・保健師・助産師として求められます。「性と生殖」に関する正しい知識を持つことは、自らの「セクシュアリティ」を見つめ直す機会に繋がります。また妊娠・出産は「病気では無い」と一般に言われますが、現実には妊娠・出産で時として妊婦さんは命を失う場合もあります。人間の存在の根幹に関わる「性と生殖」について、講義を通して考える機会となれば幸いです。

【到達目標】

- 1) 妊娠の経過、問題点を理解する。
 - 2) ライフステージに応じた性機能について理解する。
 - 3) 婦人科疾患の特徴や対応、治療に関して理解する。
-

【内容・スケジュール】

<婦人科> (1~8)

- 1) 女性生殖器の解剖、産婦人科診察・検査
- 2) 女性の性周期とホルモン
- 3) 思春期・更年期
- 4) 婦人科感染症（性感染症を含む）
- 5) 子宮の疾患、がん検診と HPV ワクチン
- 6) 卵巣の疾患、絨毛性疾患
- 7) 婦人科手術と術後管理、化学療法と緩和ケア
- 8) 避妊と不妊、人工妊娠中絶と母体保護法

<産科> (9~15)

- 9) 妊娠の成立
 - 10) 正常妊
 - 11) 正常分娩
 - 12) 異常妊
 - 13) 異常分娩
 - 14) 産科手術と術後管理
 - 15) まとめ
-

【評価】

筆記試験（婦人科 60 点、産科 40 点）、出席状況および参加態度などから総合的に判断します

【教科書】

講義プリント

【推薦参考図書】

「病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科」第3版 MEDIC MEDIA

「病気がみえる Vol.10 産科」第3版 MEDIC MEDIA
